



関 中 学 校 だ よ り

第10号 令和8年2月16日
ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tky.ed.jp/>

正のスパイラルを自ら回す

校長 堤 智一

現在本校では、次年度(令和8年度)の教育課程、いわば「学びの設計図」を作成しています。大人のビジネスの世界でも使われるPDCAサイクルの「P(計画)」にあたる作業です。

しかし、この「P」は計画という単体で存在するものではありません。現状を正確に把握し、課題を見つけることで初めて、課題解決のために実現可能な「確かな計画」となります。

では、本校の課題は何でしょうか。まずは「学力向上」です。これは全国の公立中学校に共通する普遍的な課題です。現在の学力レベルに関わらず、学校が学校として存在する限り、私たち教員は常に生徒の学力向上を目指し続けなければなりません。

さて、学力の伸びや授業の理解度を測る一つの目安が、定期考査の得点です。まもなく学年末考査が行われますが、これに先立ち、生徒は一人一人が自分自身の学習計画を立てます。ここで肝心なのが、目標の設定方法です。あまりにも高い目標を立ててしまうと、目標達成が叶わないだけでなく、モチベーションも下がってしまいます。挑戦する意欲を失わないためにも、適切な目標設定が不可欠です。

では、定期考査の目標点の設定において、どの程度の上積みを目指すべきでしょうか。私は、「一つの教科でプラス15点」という数字が、現実的かつ挑戦しがいのある目標だと考えます。目標を「15点アップ」とする理由は2つあります。

第一は、年間を通じた着実な成長を図りたいからです。定期考査が年4回あるとすれば、年度末までに合計で45点の向上が見込めます。仮に最初のテストが40点だったとしても、15点ずつの上積みを継ければ、最後には理解度85%(85点)にまで到達します。では、すでに85点を超えている場合はどうすべきでしょうか。その場合は、次の目標を「95点」くらいに置くのが良いでしょう。もちろん100点を目指しても良いですが、満点を取らない限りは目標達成とはなりません。そこまで自分を追い込むのではなく、高いレベルで挑戦し続ける姿勢を大切にしてほしいのです。

第二は、「15点」という数字の中身を考えてほしいからです。定期考査の問題は、1問あたり1~3点のものが多いです。つまり、3点問題であるならば、前回よりも「丸(○)」を5つ増やすことができれば、15点アップは達成可能です。この丸を5つ増やすために不可欠なことが、これまでの結果の分析です。丸にならなかったところは計算ミスによるものなのか、漢字やスペルの暗記不足によるものなのか、あるいは問題文の読み飛ばしが原因なのか。自分を冷静に見つめ直すことで、15点アップのための具体的な作戦が見えてきます。目標は皆同じ15点でも、一人一人の作戦は異なります。自分を知り、自分に合った目標を定め、実行に移す。定期考査を通じてこのような手順を自ら踏むことができるようになること。これこそが、私の考える「正のスパイラル」の具体例です。

生徒の学力向上という本校の課題を解決するため、自らこの正のスパイラルを回していく生徒を育てます。教員の確かな授業力向上と合わせ、相乗効果を狙っていきます。

次年度も引き続き、生徒一人一人を大切にした教育活動を展開してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

連合ダンス発表会[1年A組](1/16)

第60回を迎える練馬区立中学校 連合ダンス発表会が練馬文化センターで実施されました。関中学校からは代表として1年A組が参加し、ステージ上で伸びやかにダンスを披露していました。

1年キャリア教育(1/27・2/10)

中学校の大事な学習の一つに、キャリア教育があります。3年間を見通して計画的に実施しています。1年生では、1/17に東京石泉ライオンズクラブの方をお呼びし、様々な職業の方から働くということを中心とした内容でした。その道のプロでご活躍されている方々のお話を伺う貴重な機会となりました。

また、2/10にはハローワークの方にもお越しいただき、職業レディネステストを実施しました。自分の性格や適性を知ることができ、進路選択の参考になりました。

2年スキー移動教室(1/20~22)

好天に恵まれた3日間でした。宿舎の方からは「生徒さんたちは落ち着いて自主的に行動しており、先生が強く指導する場面が一切無く、すごい生徒さんたちだと思った」、スキースクールのコーチの方からは「生徒さんは皆真剣に話を聞いてくれて一生懸命取り組んでくれていた。教えているこちらも楽しい時間を過ごさせてもらった」とお褒めの言葉をいただきました。これらは関中生の強みです。これからも大事に育てていきたいと決意を新たにした3日間でした。

放課後カフェ(1/28)

PTAのOB組織「つばさの会」による放課後カフェが開催され、60名以上の生徒が来室しました。飲み物を手に一息つく生徒、アナログなボードゲームに興じる生徒、先生と真剣にオセロ対決をする生徒など、思い思いのひとときを過ごしていました。地域の方々に見守られた、開放的で安心できる居場所が、また一つ関中に生まれました。御協力いただいた皆様に深く感謝いたします。次回は2/25(水)の13:15からを予定しています。

2年修学旅行事前学習(2/3・13)

2/3には石川県と金沢市それぞれの観光協会の方にお越しいただき、石川県と周辺の北陸地方について、そして班行動をする金沢市について、歴史的、地理的、経済的な面など、多岐にわたり興味深いお話を伺うことができました。事前に話を聞いた上で実際に足を運ぶと、感動もより大きなものになります。今から本番が楽しみです。

また、2/13には能登半島地震の被災者の方にオンラインで体験に基づいたお話を聞いていただきました。災害はいつどこで起こるかわかりません。ただ一つだけ言えるのは、私たちには知恵があり、備えることができるということです。今回の話を受け、ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

2年校外学習(2/5)

インフルエンザによる学級閉鎖があったため、この日に実施しました。当日は朝から鉄道が乱れるというハプニングもありましたが、すべての班が協力して、班行動をやりきりました。今回の校外学習で学んだことを、修学旅行だけでなく、日常の学校生活に生かしていってほしいと願っています。

おめでとうございます

【	(2年)	明るい選挙啓発ポスターコンクール	入	選
【	(2年)	こどもエココンクール中学生部門	入	選
【	(1年)	緑化運動ポスター原画募集	入	賞
【	(2年)	緑化運動ポスター原画募集	入	賞 (敬称略)

お詫び:紙面の都合で写真を掲載することができませんでした。ぜひ学校HPをご覧ください。